

履 歴 書

高 柳 英 明

勤務先 〒 125-8585 東京都葛飾区新宿 6-3-1

東京理科大学

電話 03-5876-1392

所属・職名 東京理科大学 研究推進機構 総合研究院、教授

昭和 45 年 3 月	都立西高等学校卒業
昭和 45 年 4 月	東京大学理科 I 類入学
昭和 50 年 3 月	東京大学教養学部基礎科学科卒業
昭和 50 年 4 月	東京大学大学院理学系研究科相関理化学専攻修士課程入学
昭和 52 年 3 月	東京大学大学院理学系研究科相関理化学専攻修士課程修了
昭和 52 年 4 月	日本電信電話株式会社入社
昭和 59 年 2 月	同社基礎研究所主任研究員
昭和 62 年 3 月	東京大学より理学博士の学位を授与さる 博士論文題名：InAs 表面反転層の超伝導近接効果と その電界による制御に関する研究
昭和 63 年 7 月	カルフォルニア大学バークリー校物理学科客員研究員（1 ヶ年）
平成 3 年 7 月	NTT 基礎研究所 超伝導量子物理研究グループリーダー
平成 8 年 7 月	デルフト工科大学(オランダ)客員教授（3 ヶ月）
平成 7 年	東京理科大学連携大学院教授
平成 9 年 6 月	チャルマース工科大学(スウェーデン)客員教授（2 ヶ月）
平成 10 年 7 月	NTT 物性科学基礎研究所 物質科学研究部部長 グループリーダー兼務
平成 10 年 12 月	デンマーク工科大学客員教授（1 カ月）
平成 14 年 5 月	ランカスター大学客員教授（1 ヶ月）
平成 15 年 3 月	中国南京大学客員教授 (H18 年まで)
平成 15 年 4 月	東京大学客員教授 (H18.3 まで)
平成 15 年 7 月	NTT 物性科学基礎研究所長 NTT 理事
平成 15 年 8 月	王立工科大学（ストックホルム）客員教授（1 ヶ月）
平成 15 年 10 月	東北大学客員教授 (H16.3 まで)
平成 16 年 4 月	北海道大学客員教授 (H18.3 まで)
平成 16 年 8 月	プリンストン大学 Visiting Senior Research Scientist（1 ヶ月）
平成 17 年 7 月	地中海大学理論物理研究所（フランス）客員教授（1 ヶ月）
平成 18 年 4 月	東京理科大学 応用物理学科 教授
平成 19 年 10 月	(独) 物質・材料研究機構 国際ナノアーキテクトニクス研究拠点

主任研究員（理科大兼務）（平成 27 年 3 月まで）
 平成 20 年 4 月 理科大 理事 （平成 23 年 4 月まで）
 平成 22 年 7 月 中国南京大学客員教授（平成 25 年 6 月まで）
 平成 27 年 4 月 東京理科大学 研究推進機構 総合研究院 教授 現在に至る

受賞・称号 昭和 61 年 電電公社研究開発本部長表彰
 平成 6 年 NTT 基礎研究所所長表彰
 平成 8 年 NTT 基礎研究所所長表彰
 平成 12 年 第 7 回日産科学賞受賞
 平成 15 年 6 月 第 7 回超伝導科学技術賞受賞
 平成 16 年 7 月 HONORARY PROFESSOR（台湾、交通大学）
 平成 16 年 12 月 Foreign Member of The Royal Society of Sciences and Letters in Gothenburg
 (Sweden)

委員等 平成 9 年より 11 年まで NEDO 国際共同研究助成事業研究代表
 Satellite conference to LT22 (Electron Transport in Mesoscopic Systems
 スウェーデン 1999) 組織委員,
 第 10 回狭ギャップ半導体国際会議(金沢, May 2001)組織委員、
 Superconducting Device Physics 2001（東京、June 2001）組織委員
 第 23 回低温物理国際会議（広島, August 2002）組織委員
 第 15 回 2 次元電子系の性質国際会議 EP2DS（2003, August 奈良）組織委員
 Int. Conf. on Solid State Devices and Materials 2004 (2004, September 東京) 組織委員
 Int. Conf. on Solid State Devices and Materials 2005（2005, September 兵庫）組織委員
 Int. Microprocess and Nanotechnology Conf. 2004 (2004, October 大阪)組織委員
 Int. Microprocess and Nanotechnology Conf. 2005 (2005, October 大阪)組織委員
 Int. Symp. on Mesoscopic Superconductivity MS2000（NTT 厚木, 2000）及び
 Int. Symp. on Mesoscopic Superconductivity and Spintronics MS+S2002（NTT 厚木, 2002）及び
 Int. Symp. on Mesoscopic Superconductivity and Spintronics MS+S2004（NTT 厚木, 2004）及び
 Int. Symp. on Mesoscopic Superconductivity and Spintronics MS+S2006（NTT 厚木, 2006）
 の議長を務める
 平成 12 年より ERATO 樽茶多体相関場プロジェクト研究推進委員（平成 16 年まで）
 平成 12 年より NEDO 国際共同研究助成事業研究員（平成 14 年まで）
 平成 13 年より東京大学工学研究科量子相エレクトロニクスセンター・アジャクトメンバー
 平成 14 年度 大学評価機構大学評価委員会評価員
 平成 15 年度より 日本学術会議・基礎物理定数小委員会委員
 平成 15 年度より 日本学術会議・AMO 小委員会委員
 平成 15 年度より NEDO 技術委員（国際共同研究助成事業審査委員）
 平成 14 年度より CREST 研究代表（超伝導量子ビット、H19 年度まで）
 平成 14 年度より CREST 研究員（スピントロニクス、研究代表：新田淳作、平成 19 年度まで）
 平成 15 年度より 筑波大学ナノサイエンス特別プロジェクト客員研究員〔平成 19 年 3 月まで〕
 平成 15 年度より CREST 研究員（アトムチップ、研究代表：清水富士夫、平成 20 年度まで）
 平成 15 年度より Advisory Board Member of Nanodev Center in Chalmers Univ. (Sweden)
 平成 16 年度より CREST 研究員（超放射コヒーレント光、研究代表：花村榮一、

平成 17 年度まで)

平成 17 年度より CREST 研究員 (超伝導フォトニクス of 創成とその応用、
研究代表: 末宗幾夫、平成 22 年度まで)

平成 15 年より 財団法人神奈川科学アカデミー理事 (平成 18 年 3 月まで)

平成 15 年より 社団法人研究産業協会理事 (平成 18 年 3 月まで)

平成 15 年度より NICT 委託研究「量子もつれ光子対通信技術の研究開発」研究代表
(平成 17 年度まで)

平成 16 年度より 総務省「戦略的情報通信研究開発推進制度(SCOPE)」評価委員

平成 16 年度 文部科学省 21 世紀 COE プログラム 専門委員

平成 18 年度より JST さきがけ 領域アドバイザー

2007 年 日本国際賞分野検討委員会委員

平成 19 年度 文部科学省 グローバル COE プログラム 専門委員

平成 19 年度より CREST 研究員 (ナノギャップ電極/ナノ量子系接合による新機能の創出、
研究代表: 平川一彦、平成 24 年度まで)

平成 19 年度より [独] 産業技術総合研究所 研究顧問

平成 20 年度より 科学研究費基盤 S「究極のナノスクイッドの開発とデバイス展開」研究代表

平成 20 年度 日産科学賞選考委員

平成 22 年度より 総合科学技術会議最先端研究開発支援プログラム (first) 研究分担者
(量子情報システムの研究、研究代表: 山本喜久 平成 26 年 3 月まで)

平成 22 年度より サー・マーティン・ウッド賞選考委員 (平成 26 年度まで)

平成 24 年度より 文部科学省 科学技術・学術審議会 専門委員 (平成 26 年度まで)

平成 25 年度より 理化学研究所 客員主幹研究員

平成 27 年度より 情報通信研究機構 外部評価委員

平成 27 年度より 文部科学大臣表彰審査委員 (若手科学者賞審査部会)

そのほか、東大、京大、東北大、東工大、名大、新潟大、青山学院大、北大、上智大の
非常勤講師を務める

- 著作 1. B.J. van Wees and H. Takayanagi, "The superconducting proximity effect in semiconductor-superconductor systems", in *Mesoscopic Electron Transport* ed. by L.L. Sohn et al, (Kluwer, Dordrecht, 1997) p. 469.
2. 高柳英明「超伝導と常伝導の謎の境界」現代物理最前線 3 (共立出版、2000) .
3. *Towards the controllable quantum states*, ed. by H. Takayanagi and J. Nitta (World Scientific, Singapore, 2003)
4. 高柳英明「超伝導・常伝導のはざまにおかれたメゾスコピック系」メゾスコピック村のアリス、勝本信吾 編、丸善、2003
5. H. Tamura, H. Takayanagi and K. Shiraishi, "Quantum Dot Atoms, Molecules, and Superlattices", in *Quantum Dots and Nanowires* ed by S. Bandyopadhyay and H.S. Nalwa (American Scientific Pub. 2003) p. 67.
6. *Realizing Controllable Quantum States*, ed. by H. Takayanagi and J. Nitta (World Scientific, Singapore, 2005)
7. *Controllable Quantum States*, ed. By H. Takayanagi, J. Nitta and H. Nakano

(World Scientific, Singapore, 2008)

8. 高柳英明「基礎からわかるナノデバイス」(オーム社、2011)

その他 1996 年と 1997 年のノーベル・シンポジウムにオブザーバーとして招待される。

1998 年のノーベル賞授賞式に招待される

2001 年 12 月, ノーベル賞百周年シンポジウムで招待講演を行い、更に同年のノーベル賞授賞式に招待される。